



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,643	8.9	89	80.2	93	69.0	55	96.9
2023年3月期第1四半期	1,508	9.9	49	80.5	55	65.3	28	149.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.26	—
2023年3月期第1四半期	2.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	5,637	2,616	46.4	246.04
2023年3月期	5,242	2,583	49.3	242.89

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,616百万円 2023年3月期 2,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	0.1	80	34.0	100	25.5	33	127.8	3.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	11,660,734株	2023年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,024,205株	2023年3月期	1,024,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	10,636,131株	2023年3月期1Q	10,628,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けて回復傾向にあります。一方、東欧における軍事侵攻や中東地域の地政学リスク、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や為替変動による影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、一部には個人消費の回復傾向は見られたものの、物価上昇による消費マインドの冷え込み、さらには原材料の高騰、円安、物流コストなど、新たなリスクの顕在化による経営環境へのマイナス要因が続き、厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期における売上高は1,643百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は89百万円（前年同期比80.2%増）、経常利益は93百万円（前年同期比69.0%増）、四半期純利益は法人税等調整額27百万円を計上したため55百万円（前年同期比96.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）

小売部門においては、事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより安定した収益基盤の確立や新たな顧客への販売と継続的な販売に取り組みました。また、多様化する社会にあったトータルライフ・ケアの推進の為に新たな商品・サービスの開発や販売に努めました。特に「薬屋さんが考えた有機野菜酵素」や「クイックシールドゼリー」、「薬屋さんが考えたおいしいカレー」などが多くのお客さまから好評を博しました。

今後は積極的な採用活動と共にお客様とのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、引き続き夏季商品「冷感マスク」等の継続的な販売や熱中症対策商品等の販売を行いました。また、飲料における他企業のOEM（プライベートブランド）の企画営業を推進し、商品販売を高めてまいりました。ネット通販事業につきましても更に強化し、収益力向上に努めました。

その結果、売上高は1,472百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益70百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長性、更に防災対策としての水の備蓄や熱中症対策としての水の必要性等により、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。そのため、東三河エリアを中心に新規顧客の増加を促進するため営業強化などの活動を行いました。また、製造部門では、OEM委託による他社の企業ブランド商品の製造も堅調に推移しました。

その結果、売上高は173百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益18百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,333百万円となり、前事業年度末に比べ386百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加188百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加140百万円によるものであります。固定資産は2,304百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円増加いたしました。

この結果、総資産は5,637百万円となり、前事業年度末に比べ394百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,484百万円となり、前事業年度末に比べ410百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加280百万円、賞与引当金の増加70百万円、電子記録債務の減少40百万円によるものであります。固定負債は536百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少50百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,020百万円となり、前事業年度末に比べ361百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,616百万円となり、前事業年度末に比べ33百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加28百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.4%（前事業年度末は49.3%）、1株当たり純資産額は246.04円（前事業年度末は242.89円）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2023年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,102,892	1,291,848
受取手形、売掛金及び契約資産	564,939	705,776
電子記録債権	8,857	39,605
商品及び製品	595,149	622,914
委託商品	503,819	505,003
仕掛品	81	77
原材料及び貯蔵品	33,368	38,395
その他	144,027	137,546
貸倒引当金	△6,148	△8,112
流動資産合計	2,946,986	3,333,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	448,105	441,322
土地	1,198,806	1,198,806
その他 (純額)	21,753	19,830
有形固定資産合計	1,668,665	1,659,959
無形固定資産		
投資その他の資産	212,993	201,220
前払年金費用	98,965	97,161
その他	319,258	346,164
貸倒引当金	△4,157	△199
投資その他の資産合計	414,066	443,126
固定資産合計	2,295,725	2,304,306
資産合計	5,242,712	5,637,363
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,160	325,190
電子記録債務	198,902	158,146
短期借入金	830,000	1,110,000
1年内返済予定の長期借入金	200,016	200,016
未払法人税等	45,995	71,969
賞与引当金	135,850	206,536
その他	362,262	412,239
流動負債合計	2,073,186	2,484,097
固定負債		
長期借入金	187,813	137,809
退職給付引当金	154,263	156,871
株式給付引当金	37,367	38,495
資産除去債務	2,545	2,554
長期未払金	178,120	178,120
その他	25,989	22,416
固定負債合計	586,100	536,267
負債合計	2,659,286	3,020,364

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	528,845	528,845
利益剰余金	1,668,255	1,697,020
自己株式	△303,563	△303,414
株主資本合計	2,574,549	2,603,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,875	13,535
評価・換算差額等合計	8,875	13,535
純資産合計	2,583,425	2,616,998
負債純資産合計	5,242,712	5,637,363

(2) 四半期損益計算書
(第 1 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 6 月 30 日)
売上高	1,508,592	1,643,517
売上原価	520,969	655,458
売上総利益	987,622	988,059
販売費及び一般管理費	938,084	898,802
営業利益	49,538	89,257
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	576	615
受取家賃	4,083	4,143
その他	2,291	493
営業外収益合計	6,953	5,255
営業外費用		
支払利息	1,157	1,017
その他	0	0
営業外費用合計	1,157	1,018
経常利益	55,333	93,494
税引前四半期純利益	55,333	93,494
法人税、住民税及び事業税	50,542	64,703
法人税等調整額	△23,599	△27,102
法人税等合計	26,942	37,600
四半期純利益	28,391	55,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	792,037	261,282	158,095	1,211,415	572	1,211,988	—	1,211,988
配置販売	296,604	—	—	296,604	—	296,604	—	296,604
顧客との契約 から生じる収益	1,088,642	261,282	158,095	1,508,020	572	1,508,592	—	1,508,592
外部顧客への 売上高	1,088,642	261,282	158,095	1,508,020	572	1,508,592	—	1,508,592
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,551	4,551	—	4,551	△4,551	—
計	1,088,642	261,282	162,646	1,512,571	572	1,513,143	△4,551	1,508,592
セグメント利益又 は損失 (△)	41,899	15,859	△8,220	49,538	—	49,538	—	49,538

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

家庭医薬品等販売事業の小売部門において、企業価値向上のため顧客の増加と営業エリア拡大による営業権 (のれん) を譲受しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期累計期間において169百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	788,816	409,421	170,069	1,368,307	465	1,368,773	-	1,368,773
配置販売	274,743	-	-	274,743	-	274,743	-	274,743
顧客との契約 から生じる収益	1,063,560	409,421	170,069	1,643,051	465	1,643,517	-	1,643,517
外部顧客への 売上高	1,063,560	409,421	170,069	1,643,051	465	1,643,517	-	1,643,517
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	3,379	3,379	-	3,379	△3,379	-
計	1,063,560	409,421	173,448	1,646,430	465	1,646,896	△3,379	1,643,517
セグメント利益	62,383	8,152	18,721	89,257	-	89,257	-	89,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。